

「

LandXML に準じた 3 次元設計データ対応検定の概要

2026 年 2 月

一般社団法人 OCF

目 次

1. はじめに.....	1
2. 検定の目的.....	1
3. 運営組織.....	2
4. 準拠する基準.....	2
5. 基準月と認証有効期間.....	3
6. 検定の単位と検定料.....	3
7. 受検手順.....	4
8. 不服申し立て.....	5
9. 免責.....	5
10. 情報公開.....	5

1. はじめに

LandXML に準じた 3 次元設計データ対応検定(以下、J-LandXML 検定)とは、一般社団法人 OCF (以下、OCF)が、公益的な見地から、J-LandXML(*)の入出力を備える CAD 等のソフトウェアに対して実施するもので、CAD ベンダーの集まる団体としての技術とノウハウをもとに、J-LandXML への適合性を厳格にチェックします。

(*) J-LandXML とは、国土交通省の道路事業、河川事業の設計及び工事において、i-Construction や BIM/CIM で必要となる交換すべき 3 次元設計データの形式を定めたものとして公開された「LandXML1.2 に準じた3次元設計データ交換標準(案) ー略称：J-LandXMLー」を指します。

2. 検定の目的

J-LandXML 検定は、ソフトウェアの J-LandXML への適合性を、公開された基準・規約に沿って、技術的に判定・検証し、ユーザーに判断材料を提供するもので、以下を目的としています。

- J-LandXML 対応ソフトウェア間の J-LandXML の解釈の相違を無くし、円滑なデータ交換に寄与する。
- J-LandXML 対応ソフトウェアの実装状況を情報公開し、データの再利用性を高める。
- 検定に合格したソフトウェアを認証し、「OCF 検定」の認証ロゴを付与することにより、ソフトウェア選定の一助とする。



3. 運営組織

OCF 内に「J-LandXML 検定委員会」、及び「OCF 事務局」を組織し、検定に関する業務を行います。

「J-LandXML 検定委員会」

- ・ 検定合否判定基準、及び検定の実施に関する要領案の策定
- ・ 検定の実務全般

「OCF 事務局」

- ・ J-LandXML 検定委員会との連絡・調整
- ・ 認証ソフトウェアの情報公開

4. 準拠する基準

J-LandXML 検定は、OCF が策定し、国土交通省が監修する以下のデータ交換標準に準拠して実施します。

LandXML データ交換標準に関する基準類

- LandXML1.2 に準じた 3 次元設計データ交換標準（案） ー略称：J-LandXMLー

上記資料は、以下の URL からダウンロードできます。

<https://ocf.or.jp/j-landxml/standard/>

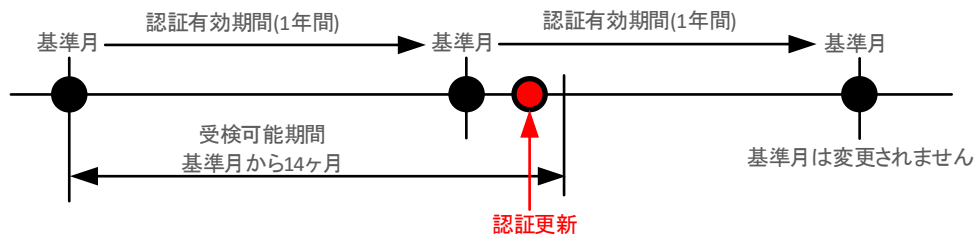
5. 基準月と認証有効期間

5.1 認証と有効期間

最初に検定に合格し、認証された月を「基準月」とし、認証の有効期間は基準月の月初から 1 年間となります。なお、認証は受検時のバージョンのみを対象とします。

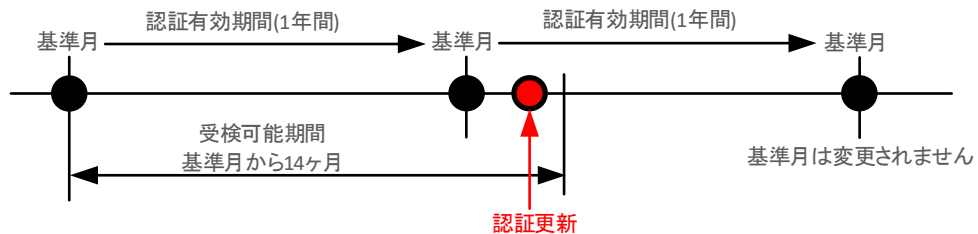
5.2 受検間隔

認証ソフトウェアは、認証更新のため原則として年に 1 度、基準月の月初から 14 ヶ月以内に検定を受検しなければなりません。なお、認証更新時は基準月を変更されません。



5.3 バージョンアップ

ソフトウェアがバージョンアップされた場合、認証は無効となり、認証ロゴを使用することができません。新バージョンに認証ロゴを使用したい場合は、検定に合格し、認証される必要があります。なお、バージョンアップ時の検定受検において基準月に変更されません。



6. 検定の単位と検定料

6.1 検定の単位

原則として製品名の異なるソフトウェアは、各々検定（認証）が必要です。

6.2 検定料

検定料は以下のとおりとします。なお、不合格時の再検定も同額とします。

OCF 会員	: 180,000 円
OCF 非会員	: 540,000 円
	(消費税を含まず)

7. 受検手順

検定の受検手順は次のとおりです。

1. 検定申請
 - ・ 申請者は所定の検定申請書を様式に従って記入し、J-LandXML 検定委員会宛にメールにて申請してください。
2. 検定申請の受理
 - ・ J-LandXML 検定委員会にて申請書の簡易判定を行ない、問題がなければ検定日時とオンライン会議システムへのアクセス情報を申請者に通知します。
3. 検定の実施
 - ・ 受検者はソフトウェアが動作し、オンライン会議に画面共有が可能な環境を用意し、検定日時にオンライン会議システムに接続してください。
 - ・ 検定中に不適合が 3 件以内の場合、合否判定を保留し、再確認となります。また、4 件以上となった場合、検定は不合格となります。
4. 検定結果
 - ・ 不合格の場合は、受検者は不合格の内容を確認のうえ、不適合事例を作成します。
5. 認証
 - ・ 検定合格の翌月までに J-LandXML 検定委員会により受検ソフトウェアが認証されます。
6. 認証ソフトウェアの公開
 - ・ 認証ソフトウェアは OCF ホームページにて公開します。
 - ・ 申告により検定の適合証が発行されます。
 - ・ 別紙「認証ロゴ使用規定」に則り、申請ソフトウェアに対して認証ロゴマークの使用が許可されます。

8. 不服申し立て

J-LandXML 検定の運営全般について、不服がある場合は、OCF 理事会に不服申し立てを行うことができます。

- 理事会は申し立て内容を審議し回答します。
- 必要に応じて J-LandXML 検定委員会に意見を求めます。
- 回答内容は会員に公開されます。
- 検定結果に対する申し立ての場合、期限は検定日から 2 週間とします。

9. 免責

OCF は、J-LandXML 検定の認証を受けたソフトウェアから出力されたデータに関する一切の責任を免れるものとします。

10. 情報公開

J-LandXML 検定の認知と検定結果への信頼性の向上をめざし、関連情報は原則、公開します。

- 検定の合否判定基準
- 検定の運営に関する情報
- 履歴情報等、ユーザーに有益な情報